

2026年7月29日

各 位

会 社 名 S B I インシュアランスグループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役執行役員会長兼社長 乙部 辰良
(コード番号：7326 東証グロース市場)
問 合 わ せ 先 取締役執行役員 大和田 徹
TEL. 03-6229-0881

2027年3月期第1四半期連結累計期間の決算速報のお知らせ

当社及び当社グループの決算手続は未だ完了しておりませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、当社グループの2027年3月期第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）の決算速報（日本基準）を下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2027年3月期第1四半期連結累計期間の決算発表は2026年8月6日を予定しております。

記

2027年3月期第1四半期連結累計期間 決算速報（日本基準）

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績の見通しは次のとおりであります。なお、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、1株当たり四半期純利益のいずれも第1四半期連結累計期間としての過去最高を更新する見込みです。

	(実績) 前第1四半期 連結累計期間 (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	(速報) 当第1四半期 連結累計期間 (2026年4月1日～ 2026年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	34,948百万円	42,144百万円	20.6
経常利益	4,884百万円	6,020百万円	23.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,168百万円	2,380百万円	9.8
1株当たり四半期純利益	87円36銭	95円90銭	

経常収益は、すべての事業において保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期比で7,196百万円増加し、42,144百万円（前年同期比20.6%増加）となる見込みです。この増収効果により、経常利益は前年同期比で1,136百万円増加し、6,020百万円（同23.3%増加）となる見通しです。親会社株主に帰属する四半期純利益については、税金費用の増加があったものの、着実な増収がその影響を吸収し、前年同期比212百万円増加の2,380百万円（同9.8%増加）となる見込みです。

一方、通期では、各セグメントにおける増収効果及び収益性改善施策の効果が順次利益に反映されることから、当初想定の利益水準を確保できる見通しです。

セグメントごとの経営成績の見通しは次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2026年3月期	2027年3月期		2026年3月期	2027年3月期	
損害保険事業	12,270	14,429	17.6	1,819	1,845	1.4
生命保険事業	13,537	17,920	32.4	121	346	186.3
少額短期保険事業	9,186	9,836	7.1	395	398	0.7
報告セグメント計	34,994	42,186	20.6	2,336	2,591	10.9
セグメント間消去又は調整	△45	△42	—	△168	△211	—
四半期連結損益計算書計上額	34,948	42,144	20.6	2,168	2,380	9.8

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

2026年6月末の保有契約件数(団体ががん保険の被保険者数を含む)は1,430千件(前年度末比2.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比17.6%増加の14,429百万円となる見込みです。セグメント利益については、契約件数増加に伴う保険金の増加に加え、税務上の繰越欠損金の解消による税金費用の増加がありましたが、着実な増収がその影響を吸収し、前年同期比1.4%増加の1,845百万円となる見通しです。なお、正味損害率及び正味事業費率の低下によりコンバインド・レシオは86.3%から82.0%へと4.3ポイント低下する見込みです。今後は、契約件数の拡大に伴う経過保険料の着実な積み上げに加え、保険料適正化施策等による増収効果が順次顕在化することから、利益改善ペースは進行し、通期では利益水準は改善するものと見込んでおります。

(生命保険事業)

2026年6月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は751千件(前年度末比3.5%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の順調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比32.4%増加の17,920百万円となる見通しです。セグメント利益は、この増収効果に加えて資産運用が好調に推移したことにより、前年同期比186.3%増加の346百万円となる見込みです。

(少額短期保険事業)

2026年6月末の保有契約件数は1,065千件(前年度末比1.0%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比7.1%増加の9,836百万円となる見込みです。セグメント利益は、保険金支払いや税金費用が増加したものの、増収効果がそれらの影響を吸収し、前年同期比0.7%増加の398百万円となる見通しです。なお、正味事業費率の低下によりコンバインド・レシオが前年同期比0.6ポイント改善見通しとなるなど収益性は向上しており、また、保有契約件数の増加により着実に業容は拡大しております。

上記の2027年3月期第1四半期連結累計期間の決算速報に記載されている情報は、本資料発表日現在において入手可能な情報に元で作成した速報値であり、確定値ではありません。2026年8月6日に発表を予定しております2027年3月期第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)の決算数値は、様々な要因により、本速報値と異なる可能性があります。

以 上